

事故報告書（概要書）

第 4 報 1

2025 年 6 月 11 日

【工事番号】 2310164

報告者

池田 和樹

現場名	(仮称)大谷流レイクミストラルサイドホテル(50室)新築工事				
現場責任者名	池田 和樹				
労働者氏名			年齢		生年月日
現住所			職種	内装（ボード）工	TEL
勤務先	会社名	真木内装		所在地	
	TEL			雇入年月日	
契約関係	(一次) ㈱きんでん → (二次) 千葉工業㈱ → (三次) 真木内装				
災害発生年月日時	2025年 4月 18日 午前 4時 05分 午後				
傷害名	左手首骨折、肋骨骨折			傷害部位	左手首・肋骨
病院名	成田富里徳洲会病院			治療日数	不休災害4月21日より仕事開始(軽作業) 6月9日より現場復帰(リハビリ通院中)
災害発生の実事確認者	氏名	池田 和樹		所属会社	京成建設株式会社
災害発生状況 (具体的に記入する)	3階客室で、立馬(1.4m)で壁のプラスターボード張りを施工中に、後ろに転落した。 左手と左脇腹の痛みを訴えており、倒れた時の記憶が無く、覚えていない。 本人から2部屋隣の部屋で作業していた母親へ連絡(16:05) 母親から㈱きんでん松田(責任者)へ連絡(16:15) 松田から池田へ連絡(16:24) 被災状況を確認し、救急車を要請しました。(16:28) 鎌田部長へ報告(16:35) 救急車到着(16:47)被災者を担架で運びました。 病院を探すのに時間が掛かり、17:40頃病院へ向かいました。 19:50きんでん松田より、症状の報告を受けました。 CT検査にて頭部の異常に無し。左手首の骨折。脇腹打撲と診断された。				
原因	天井から下がっている、電気ケーブルの束があり、腰袋が引っ掛かりバランスを崩してしまい立馬から転落した。				
処置	・作業に干渉する電気ケーブルは、事前に壁から離して電工にまとめさせる。 ・使用する立馬に、感知バーを取り付けて使用させる。 ・作業開始前に現地KYを行い作業に支障があった場合、速やかに改善する。				
労災成立番号					

※ 連絡・報告については発注者、設計事務所、監督官庁(警察署、監督署、その他)等へは必要に応じて連絡すること。

事故報告書(概要書)

第 4 報 2

2025 年 6 月 11 日

【工事番号】 2310164

報告者

池田 和樹

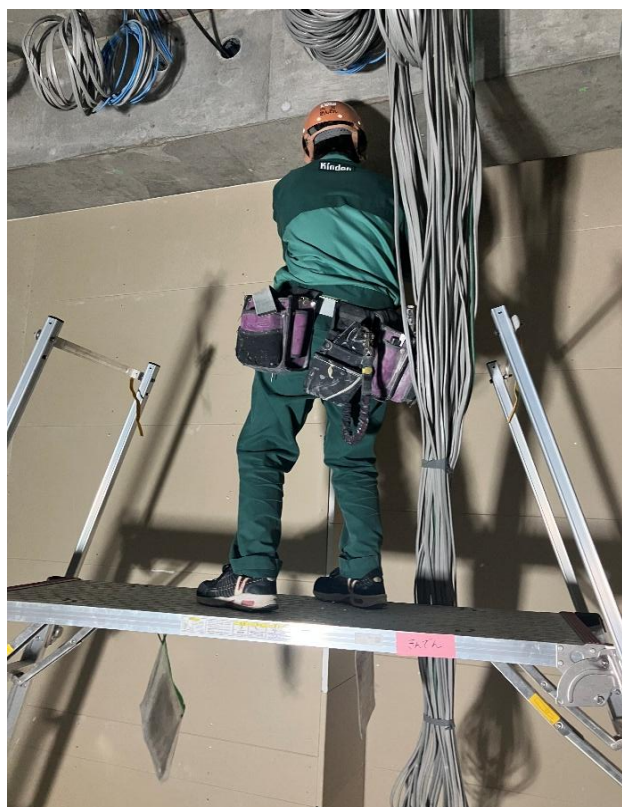
現場名	(仮称)大谷流レイクミストラルサイドホテル(50室)新築工事				
現場責任者名	池田 和樹				
労働者氏名	真木 優樹	年齢	32	生年月日	1992年 10月 31日
現住所	千葉県八街市八街い101-18		職種	内装(ボード)工	TEL 090-4451-9916
勤務先	会社名	真木内装		所在地	練馬区三原台2-18-7
	TEL	080-5017-3719		雇入年月日	2010年 4月 1日
契約関係	(一次) ㈱きんでん → (二次) 千葉工業㈱ → (三次) 真木内装				
災害発生年月日時	2025年 4月 18日 午前 4時 05分 午後				
傷害名	左手首骨折、肋骨骨折			傷害部位	左手首・肋骨
病院名	成田富里徳洲会病院			治療日数	不休災害4月21日より仕事開始(軽作業) 6月9日より現場復帰(リハビリ通院中)
災害発生の実事確認者	氏名	池田 和樹		所属会社	京成建設株式会社
災害発生状況 (具体的に記入する)	4月19日(土) 9時から被災者出席のもと再発防止対策会議。(京成建設・きんでん) 11時とよだ整形外科医院へ行き、CTとレントゲン検査を受診。 18:50分 きんでん松田より症状の報告を受けました。 肋骨 3から7本ヒビもしくは骨折の疑い 首の骨もひびが入っている可能性有り 21日(月)午後MRI検査受診。第2肋骨から第7肋骨骨折、首はむち打ち 22日(火)左肩が痛むので、肩のMRI検査を受けました。肩に異常はありません。 24日(木)胸のMRI再検査を行いました。以前の診断通りでした。				
原因					
処置					
労災成立番号					

※ 連絡・報告については発注者、設計事務所、監督官庁(警察署、監督署、その他)等へは必要に応じて連絡すること。

状況写真・図面等(1)



状況写真・図面等(2)



状況写真・図面等(3)



状況写真・図面等(4)

